

2021年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書（最終）

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部／ 研究科 国際社会科学科／専攻 3年（留学年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 オックスフォード・ブルックス大学
原則 公開	学籍上の 留学期間	2021年 9月 13日 ～ 2022年 5月 14日 出国日： 2021年 8月 29日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学を終えて、海外研修において最も大切なのは「英語力」ではなく「主体性」だと思われました。留学前の大学生活では、大人数の集まりが苦手な為にサークルには所属していませんでしたし、授業中答えが浮かんでも間違いを恐れて発言しませんでした。

しかし人生で一度きりの、憧れ続けた末に掴んだ海外研修の機会。

難しいことは考えず、現地大学の部活動（剣道）、Japanese Society, International Buddy, English Club などたくさんの団体に参加してみました。自分の英語力の低さを痛感させられた回数は一度や二度ではありませんでしたが、たどたどしい英語でも明るく積極的な姿勢であれば友人の輪はどんどん広がりました。これが私の中で自信となったのか、発言やプレゼンが頻繁に求められる現地大学の授業でも「とりあえず手挙げてみるか、誰も私のミスなんて気にしていない」と考えるようになっていく自分に気づき、成長を感じました。留学において最も重要なのは英語が流暢に話せるかどうかではなく、どれだけ主体性をもって自分から行動を起こせるかだと思います。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

第1回の報告書と重なりますが、やはりイギリス英語を渡航前からもっとたくさん聞いて、耳を慣らしておけばよかったなと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

非常に良いと思います。どの教授も質問に対して真摯に答えてくれますし、拙い英語でも懸命に読み取ろうとしてくれます。授業はやはりディスカッションなど自分の意見を発さなければいけない機会が多いので、その分準備には毎回気合を入れなければなりません。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

非常に整備が行き届いており清潔です。オックスフォード・ブルックス大学はイギリスの中では最も新しい大学の一つなので、他大学と比べると近代的なキャンパスが特長です。キャンパス内の図書館は非常に大きく、ほぼすべての席にパソコンが備え付けられていました。自習室も充実していますが、それでも試験前は非常に混雑して席を見つけるのに苦労しました。小さいながらもジムや食堂、スーパーマーケットが一通りそろった利便性の高いキャンパスだと思います。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

開講されています。私はエッセイの書き方について学ぶ Writing の授業を選択したのですが、この授業非常にお勧めです。イギリスでは成績が 100% レポートの出来で決まります。そのためこの授業でレポートの構成やアカデミックな語彙を学べたことはすべての授業において役に立ちました。このほかにも Reading, Listening, Speaking と様々な科目がレベルに応じて開講されています。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

留学生向けに 1 セメスターで約 8 回イギリス各都市への Day Trip が企画されていました。London、Isle of Wight、Wales、Stonehenge、Brighton、Bath など個人ではなかなか行きにくい場所にも、学校貸し切りのバスで非常にお得に行けるので大変おすすめです。

又多くの人々が母国に帰ってしまうクリスマス期間は、帰らない留学生向けにクリスマスパーティーが開催されていました。ハロウィンパーティー、イースターエッグハントなどもあり、イベントが豊富です。さらに Global Buddy という制度は留学生同士が友達を作れるように支援するもので、趣味や好きなものが似た留学生同士がマッチングされるため、交流の輪が広がりました。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

なし。

JASSO と国際社会科学部の奨学金を利用していため、現地では申請しませんでした。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

非常にいいです。オックスフォードはイギリスの治安の良い都市ランキングでも上位

にランクインする街で、現地の人々でさえそのことは認知済みのようでした。特に昼間はのんびりとした雰囲気があり、治安の悪さは一切感じられません。とはいえ日本と比べるとスリや置き引きなどの軽犯罪発生率は高いというデータがあるので、危機感を持って行動するに越したことはありません。夜に City Centre に行くと酔っ払った人たちがけんかをしていたり、ホームレスの人たちに付きまといられることもあると聞いたので、女性が一人で歩くのはやめた方がいいと思います。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

オックスフォードは、公共の交通機関も発達しているので移動に困ることはほぼありません。特に大学と City Centre を結ぶ Brookes Bus は 10£ で 1 年間乗り放題。大学からはロンドンに行くバス (Oxford Tube) も出ており、これを使えば往復 10£ で行くことが可能です。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
International Business Strategy	International Business
Academic Writing for Business	Advanced Academic Writing
Essential Japanology	英語で学ぶ日本事情
Marketing Management	Global Marketing
Conservation and Heritage Management	Sustainable Development
Global Sociology	International Migration

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 727£、(日本円) 約 12 万円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 10 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

私がいた宿舎 (CliveBoothPostgraduate) はたしか全寮の中で最も家賃が高い寮だったと思います。そのぶん大学まで歩ける距離にあることとトイレ・シャワーが共用でないことが特徴です。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円
協定留学の為通常通り学習院大学に支払えば、現地で払う学費はありません。

(2) 渡航方法と金額

飛行機 (日本円) 往復 約 15 万円 (直行便は高い為私は経由便を利用しました)

(3) 生活費

(現地通貨) 月額 約 200£、(日本円) 約 3 万円

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシングカード/クレジットカード/国際ブランドプリペイドカード
/現金/その他 ()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

イギリスはキャッシュレス化が進んでいるためどんなに小さなお店や市場でもクレジットカードが使えました。そのため携帯にクレジットカードを登録した ApplePay でお店の会計をすませる事が多く、現金や財布はほとんど持ち歩いていませんでした

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

なし

JASSO 海外留学支援制度 (月 8 万円) を寮費支払いのために受給していました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

東京海上日動火災保険株式会社

(2) 保険料

95120 円

(3) 加入した保険の種類、内容

海外旅行保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

国際センターから紹介いただいた保険です。団体割引があるようでほかの保険会社を利用するよりも安く加入することが出来ました。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物/船便/SAL 便/航空便/海外宅配便/その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

レンジでご飯が 1 合分炊けるもの (ダイソー)、レンジでパスタ 1 人前ができるもの (ダイソ

一)、パスタソース、ヒートテック極暖、折り畳み傘、日本のお菓子（キットカットなど）、お箸、モバイルバッテリー、就活用の本

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

便座カバー、電子辞書、ヒールの高い靴

(4) 持って行けば良かったと思う物

作り置き用タッパー、料理用包丁、サランラップ（現地でも売られていますが品質・使いやすさが段違いです。）

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

大学の授業が前後期ともに平日に週4日あったので平日は大学にて1日を過ごすことが多かったです。そして、自炊用の食材購入も土日はスーパー方面のバスが運行していなかったため、必ず平日の大学後に行っていました。上記に書いたように大学の近くにもスーパーマーケットはあるのですが、多店舗と比べるとかなり高いので、私は1・2週間に1回バスに乗って、ALDIという激安スーパーでまとめ買いをしていました。

(2) 週末

上記の留学生向けのDay Tripに参加したり、友達とロンドンに行ってミュージカル鑑賞をしたりと基本外出していました。イギリスは博物館等が基本無料なのでそうしたところにも足を運ぶことも楽しかったです。

8. 後輩へのアドバイス等

わたしは3年生の2学期から1年間留学したので、特に3月からは大学の授業と就職活動の両立に非常に苦労しました。面接が朝5時から行われたり、テストセンターを国内で受験できないからと応募を拒否された企業もあります。しかし何事もプラス思考で行きましょう。早朝面接は頭がすっきりした状態で望めますし、面接後に朝日を眺めながら飲む紅茶は最高です。応募できなくても、そんな融通の利かない企業こちらからも願い下げだ！の気持ちでした。就職活動に関する障害は確かにありますが、留学に来なければよかったなどと留学を後悔したことは一度もありません。気持ちがあるのなら、「もう3年生だから」や「就職活動があるから」などを理由に留学を諦めることは絶対にダメです。何か相談があれば力になりたいのでいつでもメールしてください！

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。